

2013-14 ROTARY INTERNATIONAL DIST. 2710



ガバナー月信

Vol. 4

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2013年 10月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB

Governor's Message

『職業奉仕・米山月間』



2013-14年度
国際ロータリー第2710地区ガバナー

沖田 哲義

GOVERNOR: Tetsuyoshi Okita

地区内ロータリアンの皆さん、今日は。

今月は当地区での最大のイベントである地区大会が下関市で開催されます(皆様がこの月信をお読みにする頃には、既に終了しているかもしれません)。しかし、この内容及びこれに対する感想等を述べることは、紙面の都合がありますので別の機会に譲ります。そこで、RIの年間行事に関して触れますと、今月は、「職業奉仕」及び「米山」月間ということになります。以下、これについての私の意見を述べます。

第1 職業奉仕について

私は、ロータリアンとして当然のことですが、職業奉仕については特別の思いがあります。そして、この「思い」については、既に何度も述べてきました。例えば、私の作成したロータリー概論であるとか、会員開発委員会での質問に対する回答の中でです。これらの中で特に強調したかったことは、職業奉仕と社会奉仕の相違や、自分の仕事に関連した社会奉仕においては、自らも立派に職業奉仕を行わなければならないという点です。いずれにせよ、今月は「職業奉仕月間」でもありますから、地区内のロータリアンの皆様には、もう一度上記「概論」や「回答」書をご一読頂き、職業奉仕についてご議論頂きたいと思います。

第2 米山記念奨学会について

本年の1月27日(日)に、私も選考委員の一人となって、米山記念奨学生の選考会が行われました。今回の選考では、合計44名の専門学校生、大学生、大学院生及び博士課程就学者が申請を行っていました。この内中国人が31名です。これをパーセンテージにしますと70.45%にもなります。しかし、合格者22名(当地区に割り当てられた枠が22名だったのです。これは寄付額の大きさを基準にして割り当てられるものです。)のうち中国人は、13名ですから、その割合は約59%です。したがって、申請があった中国人のうち18名は不合格となったのです。しかし、いずれも極めて優秀な大学生等でした。ところが、本当に残念なことですが、他の国とのバランスを考えざるを得ず、結局、この18名を断腸の思いで不合格にしたのです。このため、選考委員は、皆さん何とも遣りきれない気持ちになりました。

ところで、米山記念奨学生は、日本全体の寄付額低下のため、全国レベルでは2012年度の795名から2013年度は697名となり、98名の減員になりました。その結果、当地区でも27名から22名へと、5名の減員になったのです。皆様もよくご存じのとおり、米山記念奨学生は世界各地で活躍し、日本と彼らの母国との間の、大きな「平和の架け橋」になっています。したがって、何としてでも、寄付額を増加させ、今一度奨学生の増加を図り、上記「架け橋」を更に大きく且つ強固にする必要があるのではないのでしょうか。



● ガバナーメッセージ/目次	 P1	● 米山研修旅行報告	 P4~6
● 職業奉仕月間に寄せて	 P2	● 会員増減・出席率	 P7
● 米山記念奨学会について	 P2	● 新入会員紹介	 P8
【地区指導者育成セミナー報告】		● 物故者への哀悼	 P8
● 地区代表幹事	 P3	● 文庫通信	 P8
● 会員増強部門	 P3	● 奥付	 P8
● ロータリー財団部門	 P4		





10月職業奉仕月間に寄せて

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 パストガバナー **天野 肇**

職業奉仕部門の活動は、沖田ガバナー年度 会員開発部門の活動の一つに組み込まれました。理由は、地域社会に於いてロータリーが掲げる職業奉仕の認知度を上げる活動を推進するために職業奉仕プロジェクトを計画し、地域社会の人々と職業奉仕の目的を共有することでロータリーの理解者を増やし、ひいては会員増強に資することにあります。また月間中、クラブ内で職業奉仕の理解を推進するプログラムを計画し、奉仕の実践に役立てることが要請されております。

私達がロータリークラブへ入会した際、最初に出会う「当惑かつ理解に苦しむ言葉」が「ロータリーの職業奉仕」です。ロータリアンとして、ロータリー用語を理解し、知識の整理整頓を試み、そして活用するための最初のハードルが「職業奉仕」であり、ここで躓くとクラブメンバーに為れてもロータリアンには為り得ないのです。それほどロータリーを象徴する特徴ある言葉です。勿論、国語辞典をめくっても見当たりません。ロータリーでは、職業を VOCATION と表現します。職業奉仕は VOCATIONAL SERVICE です。英語の意味をそのまま解釈すると、「聖職者が神に対して行う神聖な行事」となります。VOCATION は元来聖職者の任務を意味する言葉ですし、SERVICE も聖職者の神に対する日々のお勤めを意味するからです。キリスト教が主たる宗教である国で生まれたロータリーだからこそ抵抗なくこの言葉を使用したのだと想像します。このことがマックス・ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」に準拠した天職論にすり替ったり、あるいは極めて精神論的な解釈や仏教的な解釈がなされたりし、標準的

なロータリアンにとって職業奉仕を益々解かりにくい言葉にしてしまいました。

ロータリーの古い文献の一つに 1946 年に刊行された「奉仕こそわがつとめ」があります。この文献に目を通してみますと、職業奉仕の持つ意味を理解することが出来ます。少し引用してみますと、「あなたの事業—あなたの日常の仕事—は、あなたが代表している職業分類に示されている職業を意味するのです。この職業分類を保持するという特権は義務を生じます。それはロータリーをあなたの職場で活用すること、つまり自己に優先して奉仕をすることを行動原則、行動方針とすることです」と明記されております。そして「職業上の顧客、患者、生徒等々が求めるものについて考慮する時、常に彼らの最大利益になるように行動することが奉仕こそわがつとめに適う事であり、それは即ち職業奉仕を実践していることを意味する」と述べられています。職業を通じて関係する全ての人々に役立つことをするためには、職業を歪めない確固たる倫理観が必要です。この明快な職業倫理観を礎として、奉仕によって生じるプロフィットを世の人々と一様に分かち合おうとする意志の表現が「ロータリーの職業奉仕」なのです。換言すれば、この行為は自己の職業の価値を高めることでもあります。

ロータリーが創設ほどなく産み育ててきた職業奉仕の理念は、政治・経済・文化がグローバル化している現代では、特徴ある、しかも社会に善を齎し、職業上の規範の維持とそれらを実践するリーダーの養成を主張する有意義な「グローバルリテラシー」の一つだと言えるのではないのでしょうか。



米山記念奨学会について

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 カウンセラー **仁田 一也**

〇はじめに

尖閣諸島など国境問題が表面化してくると、「あんな国からの留学生を支援することはない」といったご意見をよく耳にします。思えば私たち人類の間では民族・宗教・文化などの違いから有史以来紛争が絶えません。人間の業の深さででしょうか。それでいて次

世代こそは平穏にと祈らずにはられません。よねやま奨学会もそんな願いをこめているのです。

〇よねやま

正式には（公益財団法人）ロータリー米山記念奨学会ですが、以後よねやま（奨学会）と略します。日本のロータリーの父とも言われる米山梅吉氏の名を冠



したこの奨学会は、今から60年ほど前に東京のロータリアンが発想してその後全日本のロータリークラブによって育てられ、今ではわが国の民間で最大の外国人留学生支援事業となり、これまでの奨学生累計は121の国や地域から12,000人を超え、学友の中にはいろいろな分野で重要な役職について社会的に活躍している人も多く、頼もしい限りです。

○よねやまの特長

奨学生一人ひとりに「世話クラブ」が選ばれ、更にそのクラブの中から「カウンセラー」が世話役に選ばれます。「カウンセラー」は奨学生の面倒を見ると同時にロータリークラブとの橋渡し役もつとめます。こうしてよねやま奨学生は、経済的にも精神的にも安定して学業に専念できるほか、ロータリアンとの交流を通じて広く日本の文化に触れ、ロータリーが求める平和や奉仕の心も学ぶことができます。

○よねやまのしくみ

全国のロータリアンを中心にいただいた寄付金は

国債などを買い入れて2年間運用して3年目にその寄付金全額が奨学事業に充てられ管理事務費などは運用益で賄われます。評議員会・理事会のメンバーは全国各地の新旧ガバナーや地区委員長クラスで構成され、財務・選考・学務学友・広報などの専門委員会で検討し理事長以下数名の常務理事会で更に検討を加えた議案を審議します。その陰には事務局長の下10名の優れたスタッフのチームワークがあることを忘れてはなりません。

○よねやまの今後

よねやまは当初から毎年1,000人の留学生のお世話を続けてきましたが、ここ10数年の間に800人からついに700人まで減員せざるを得なくなりました。これはロータリークラブの会員数の減少によることがひとつの原因ですが、平和な次世代の国際社会づくりに貢献するパワーが弱体化してゆくと思えば残念です。よねやま奨学会に対する皆様の一層のご理解とご支援を改めてお願いする次第です。

地区指導者育成セミナー報告



2013-14 年度 地区指導者育成セミナー報告

2013-14年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **小倉 國雄**

8月25日13時より2013-14年度地区指導者育成セミナーがホテルグランヴィア広島において開催されました。

13時より会員増強部門とロータリー財団部門に分かれ、会員増強部門では沖田ガバナー挨拶に続き、第3ゾーンロータリーコーディネーター第2660地区井上暎夫パストガバナーにより「会員増強とクラブの活性化」についての講演、続いて福山ロータリーEクラブ2710池田潤治会長による「福山ロータリーEクラブ2710の現状と課題」についての講演がありました。

ロータリー財団部門では、地区ロータリー財団(委)カウンセラー川妻二郎パストガバナー挨拶に続き、第3ゾーンRRFC地区ロータリー財団(委)アドバイザー松本茂太郎パストガバナーによる講話、伊賀訓之地区ロータリー財団委員長によるロータリー財団現況報告があり、続いて地区ロータリー財団委員による補助金管理セミナーが開催されました。

続いて15時10分より合同本会議に移り、金子信パストガバナーより4月20日に米国イリノイ州シカゴにおいて開催された「2013規定審議会」の報告があり、沖田ガバナーにより「ロータリー財団未来の夢計画初年度の反省(新地区補助金に関して)と今後のロータリー活動の展開」という演題の基調講演がありました。

この中で、ガバナーはこの度の初年度未来の夢計画における、新地区補助金申請に対しての、採用事業・不採用事業に対する事例等を踏まえ、その原因、対策、及び反省点を述べられ、今後は先進国(特に日本)でのロータリー活動における新しい地区補助金基準(要素)の必要性を強調されました。

最後に地区研修リーダー岡田幹矢パストガバナーのまとめがあり本会議は終了しました。

続いてビアパーティで、研修による頭の疲れを解し、2013-14年度地区指導者育成セミナーは終了しました。



2013-14 年度 地区指導者育成セミナー報告 会員増強部門

2013-14年度 国際ロータリー第2710地区 会員開発委員会委員長 **和田 銀一郎**

2013年6月末の日本の会員数は86,784人で2012年6月末に比べて362人の減であり、会員の減少は続いております。

第2710地区2013-14年度地区指導者育成セミナーにおいて、会員の増加とクラブの活性化に向けて、会長・会員増強委員長な

ど143人が研修を行いました。

沖田ガバナーの挨拶の後、昨年と同じく、井上暎夫第3ゾーンロータリーコーディネーターにより「会員増強とクラブの活性化」の講演を頂きました。「入会数と退会数、会員の増減の分析」「会



員の増強に妙案はあるのか。効果とされる主なもの」「会員維持・退会防止とクラブの活性化策」「自らがロータリアンになって良かったことを実感できれば仲間を増やせない」など話されました。

続いて池田潤治福山ロータリー E クラブ 2710 会長が当地区で最初に設立された E クラブの状況について話されました。「インターネットのホームページ上で例会を開催」「事務局職員を置かない」「年会費 6 万円」など既存クラブ会員には思いも寄らぬ会運営ですが、これは井上コーディネーターのお話にあった「時代の変化に合わせた多様性、情報革命に対応した柔軟性・刷新性」の具現化かも知れません。当地区 6 月末の会員数は 3221 人で前年比 24 人増です。福山 E クラブの設立はこれに貢献大であります。

続いてパネルディスカッションに移り、昨年度の会員増強ベスト 4 クラブの、下田敬三広島北 RC 会員増強委員長、土肥博雄広島中央 RC 会長、中本高明広島城南 RC 会員増強委員長、

河野康志山口 RC 会長からそれぞれ会員増強の取り組みのお話を頂きました。会員増強が図られているクラブは熱心な会長・増強委員長のリーダーシップで、若い会員の入会を図り、明るく楽しい例会の実施などに努めておられました。

最後に井上コーディネーターから「それぞれ積極的に取り組まれている。かつては企業を対象にメンバーを増やしてきたが、地域に密着しながらクラブの特色を生かせる様な会員増強をして欲しい」と講評を頂きました。

井上コーディネーターが語られた「ロータリーを通じて人生を豊かに」「人生をどう生きるか答えはロータリーにある」はロータリアンには理解できる重たい言葉です。自分の為、ロータリーの為「サクセス・ジャパン大作戦」を遂行し、2015 年 6 月末までに日本全体のロータリアンを 10 万人にいたしましょう。



2013-14 年度 地区指導者育成セミナー報告 ロータリー財団部門

2013-14年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会委員長 伊賀 訓之

[司会 地区ロータリー財団委員 倉田 修三]

■川妻二郎カウンセラー挨拶

人から人へ物事を伝えることの難しさについてお話がありました。

■松本茂太郎 RRFC ゾーン 3 コーディネーターの挨拶

大口寄付者を増加させることと寄付の方法が色々ありますので財団への寄付の推進をよろしくというお話でした。

■国際ロータリー第 2710 地区ロータリー財団委員会の報告を次の通りいたしました。

◇2012-13 年度総括

- ・2012-13年度クラブ別寄付状況(参加者用資料1~2 ページ)
- ・2012-13年度地区別寄付状況(参加者用資料3 ページ)
- ・DDF 配分(参加者用資料4 ページ)

◇2013-14 年度 沖田ガバナー 地区目標

- ・ポリオ・プラスへの支援 5ドル1人以上
- ・年次基金寄付 150ドル1人以上
- ・恒久基金寄付 ベネファクター1人以上
- ・ロータリーカードの協力 各クラブ担当者の決定

◇地区補助金管理セミナー

ロータリー財団は 2017 年に 100 年を迎えるにあたって、過去のクラブ、地区等の多くのプロジェクトを分析しその結果、次の「地区補助金」「グローバル補助金」「パッケージグラント」の 3 つの補助金に統一しました。またプロジェクトの分析により、地区補助金はロータリー財団の使命を支援し、グローバル補助金は 6 つの重点分野を支援するようにしました。

これらに沿った人道的プロジェクト、職業研修チーム

(VTT)、奨学金のプロジェクトが実施出来ます。国際ロータリー財団はこれらのプロジェクトを試験地区 100 地区で実施した結果、「クラブのプロジェクトへの参加が増えた」「新補助金制度は非常に優れている」「新補助金モデルは手続きが簡素化されている」とか「重点分野がやりにくいと答えた地区が 40% から 20% に減少した」というアンケート結果が国際ロータリー財団から報告されています。

◇当地区 地区補助金について

- ・2013-14 年度申請内容の分析
- ・問題のあった申請について、地区がサポートした事例
- ・継続事業の取り扱いについて
- ・過去の補助金からの継続も不可
- ・4 回目は不可
- ・全く同一のプロジェクトは不可
- ・審査基準の再確認
- ・地区補助金の指針を順守

各クラブでプロジェクト委員会を設置し、地域のニーズ調査の実施をしたのち、プログラムを計画立案する時に、地区財団委員会にご相談いただき一緒になってクラブのサポートが出来るようにお願いしました。

プロジェクト立案には、地域のニーズ調査が大切です。できるだけ多くの人の声を集め、地元の人々の知識を信頼し、人材をフルに活用できるようにして下さい。

その他、地区補助金の指針、グローバル補助金プロジェクトの事例などを説明し終了しました。

米山研修旅行報告

世話クラブ:山口RC

呉 曉良

ロータリー米山記念奨学会の皆様のお陰で、今回の関西研修旅行に参加することができました。本当に心から感謝いたします。研修旅行の一日目は神戸の人と防災未来センター、奈良の東大寺、興福寺でした。二日目は京都の二条城、金閣寺と大徳寺でした。

二日間の研修旅行を通して、日本の古い歴史を感じながら、他のクラブの奨学生やロータリアンとの交流によって、お互いの国のことをより深く理解出来ました。以下は一番印象深かった神戸人と防災未来センターと東大寺の感想を話したいと思います。

神戸の人と防災未来センターでは、地震当時の様子を自分自身で体験してみたら、本当に巨大な衝撃を受けました。自分は一度も地

震を体験したことがないですが、それらの画面を見るだけで、地震の悲惨さにびびりました。そこでもう一度自然の強さと人間としての弱さを深く感じました。そして、地震の怖さに対して、地震後の救済、相互扶助の画面や、日本人の冷静さ、勇敢さを見たら、人と人の絆に胸を打たれました。7月に中国の甘粛省にマグニチュード6.6の地震があって、たくさんの死傷者が出ています。

日本も中国も地震がよく発生する国で、地震の破壊に対してやむを得ないですが、地震後の救済はどの国でも同じです。みんなは地震の災害に負けず、必ず困難を乗り越えることができると信じています。



人と防災未来センター

今回の研修旅行の前に、奈良や京都へ一度も行ったことがないですが、何回も鑑真の話聞いていました。盲目になった鑑真はかいを授けるために、3回をわたって、日本へ来ました。奈良の東大寺を見たら、鑑真がそこで菩薩戒を授ける画面が頭に浮かび上がっていました。ずっと昔から鑑真のように日中交流のために自分の力を尽くす人がいます。現在、一人前の留学生として、日中交流を促進するために、鑑真のように自分の力を尽くして、頑張っていきたいです。

短い研修旅行でしたが、頭に残っている画面がまだたくさんあり

ます。この研修旅行のチャンスをくださった皆様に再びお礼を申し上げます。これからもぜひきちんと日本文化を学んで、日中交流と相互理解を促進するために自分の力を尽くしたいと思っています。



東大寺

世話クラブ:呉東RC

費 暁東

1泊2日の研修旅行は無事に終了しました。今回の研修旅行では、世界遺産・食文化・日本社会を体験すること、奨学生どうしの交流も深めることができました。長時間のバス移動は大変でしたが、とても有意義な旅でした。

「両手を合わせ、大仏の前では畏敬の念でお祈りいたします。」

東大寺は古都奈良の文化財であり、世界遺産の一つでもあります。何と言っても、世界最大級の木造建築である大仏殿の大きさと美しさに感動しました。2度の人災で焼け落ちた大仏殿をしっかりと見てきた大仏さまは、きっとこの世の中のすべての喜怒哀楽を味わっていたでしょう。過去も、現在も、そして将来になっても、大仏さまは人々の心を救い、我々を見守り続けるでしょう。

また、興福寺の国宝館ではたくさんの「秘宝」を拝見することができました。阿修羅像をはじめ、数多くの貴重な仏像や絵画の繊細さや美しさに驚きました。

驚いたことは、まだまだたくさんあります。

金閣寺の、建物の内外に金箔を貼ってある様子は、なんと美しいことでしょう。金閣寺が目の前に現れたその瞬間、その美しさに言葉を失い、「きれい!」と一言しか発することはできませんでした。緑に囲まれている「金閣」は鏡池に映る「逆さ金閣」と一体となり、自然と人工による傑作であることに間違いはありません。



日本に、仏教の各流派によりお寺や仏像、絵画などの素晴らしいものがたくさん残されています。仏教が日本の歴史でどれだけ重要であることが窺えると同時に、文化財を大事にしている日本に非常に感銘を受けました。

「両手を合わせ、感謝の気持ちをこめて、いただきます。」

朝御飯と言ったら、普通はとても簡単なものと思われそうですが、こんなにたくさんの品がでるなんて驚きました(下写真)。2日間、このような和食だけではなく、精進鉄鉢料理も味わうことができました。旬や季節の食材はもちろん、自然などを表す様々な食器を通して、日本料理の「華やかさ」を体験することができました。食事を通して改めて日本の素晴らしさを感じました。



「両手を合わせ、二度とないように願っております。」

神戸市にある人と防災未来センターで特別な体験をさせていただきました。阪神・淡路大震災と東日本大震災の恐怖を再現ビデオや写真展でもっと知ることができました。高層ビルが次々と倒れていくシーンを見た時に、自然の力の強さに我々人間が到底勝つことはできないだろうと思いました。しかし一方、地震の後の復興活動を見ると、我々人間は一丸となった時に、決して自然に負けることはないだろうとも思いました。私たちの日常生活では、自然と調和してやっていくことは如何に重要であることがよく分かりました。

世界の地震の約20%が日本に集中していると言われています。地震多発国である日本は、世界先進の技術や大地震に対応する貴重な経験があります。これらのことは、ある意味で日本の「国宝」であり、世界の「宝物」であると言っていいでしょう。

「両手を叩き、よ～お、バン!」

バスの中で、お寺巡りの時に、旅館の中で、食事の時に……、奨学生の皆さんとたくさんお話ができました。他の国の文化や、他の大学の事情など、皆さんがお互いに交流と理解を深めたと思います。今回の研修旅行を企画していただきまして、本当にありがとうございました。心より感謝の意を表したいと思います。

日本の良さをもっとたくさんの人に知ってもらうように、私自身からも積極的に情報を発信して行きたいと思っています。皆さん、2日間本当にお疲れ様でした。

世話クラブ:防府北RC

袁 向東

バスは広島駅を出た後、すぐ高速道路に乗って道路の両側の緑や散在する家などの風景が次々と目に入ってきました。車内から韓国語、中国語や日本語などの声が聞こえてその爽やかな声が遠くまで響くでしょう。皆さんはカメラを手に構えて一秒でも早くガイドさんが綺麗な声で教えてくれた歴史ゆかりの沿道の景色を収めています。

高速道路を4時間ぐらい走った後、正午頃最初の目的地―神戸の人と防災未来センターに着きました。人と防災未来センターは阪神・淡路大震災の記念館として建てられたものです。ここで1995年1月17日5時46分という時刻が永遠に止まっています。今まで一度も地震を体験したことがない私は阪神大震災の当時の映像をリアルに見ました。倒れてきた家、崩れてきた橋、ひびが割れている道、がんっていう音、子供の泣き声、犬のほえ声、下敷きになった人の唸り、何も言わずに夢の中から他界へ行った人々の姿、火の海などは強く私の心を打って頭の中に焼きついていきます。それを見た瞬間、私は言葉を失い、ただただぼうっとしているだけです。このような災害の前で私たち人間はどれほど弱いか脆いか無力かすごく思い知らされました。私たち現代人は科学を武器に自然界と戦おうとしていてある程度の成果を挙げましたが、最後どうなるかはまったく未知の世界です。人間はいったい自然界に勝てますかそれとも人間は自然界と手を携えて未来に歩いていくか。私たちに残された課題がまた山ほどあります。

美味しい中華を食べた後、バスが奈良に向かって走って途中で日本2番目の大都会―大阪の風景を見ながらガイドさんの面白い話を聞いて



食べ物をめぐっての戯れ

てあつという間にバスが東大寺の駐車場の前に止まりました。

玄関から入ってその広々とした庭と立派な建物を見ると、とても懐かしい風景です。このような風景は日本ではめったにない風景ですが、私は中国の時代劇の中でよく目にしました。

世話クラブ:東広島RC

徐 載勝

今回の研修旅行は神戸と奈良、京都がメイン地域であった。去年の研修にも同じ地域に訪れたようだが、やはり日本の文化や歴史を体験する際に、これらの地域が最も適切な場所になるだろう。

私は、日本の大学を卒業したが、その大学の研修も京都であった。あの時は、清水寺を皮切りに日本の古い町並みを見学することがメインテーマであった。もう5年以上の前の話であるが、久しぶりに京都へ行って昔の懐かしい思い出も思い出された。

私の留学生活は、今年7年目に向かっていく。その間、関西の方の観光地はけっこうあちこち訪問してみた。今回の研修地域である京都や奈良、神戸にも訪問経験がある。

しかし、地域は訪問したことがあっても、今回訪れた施設は殆どが初めてであった。特に、神戸の「人と防災未来センター」への見学は、阪神大震災の当時の状況が非常にリアルに描いていて、かなりの刺激を受けた。このセンターへの見学は広島の実験ドームのように大体暗い時の記憶を体験するダークツーリズムに一环するが、その暗い思いを克服するための神戸市や市民たちの努力がこの施設を訪問したことで間接的に理解できるようになった。

また、世界遺産である金閣寺や元離宮二条城への訪問および、日本の国宝である興福寺国宝館、東大寺の見学、また日本の宝物のひとつである高桐院への見学は、日本の歴史や文化等の知識が浅い私にとって日本を新たな目で眺める有益な機会となった。

しかし、実際自分がこのような風景の中に立っていると、やっぱり心の揺れが違います。テレビで見たときの感じとは違います。大仏の雄大さを見ると、心が落ち着き、悩みが風に載って連れ去られていきます。当時の人々も大仏を見て癒されていたでしょう。しばしば「这边(こっちへ)」「快走(速く)」「给我照张相(写真を撮ってくれ)」「好大的佛呀(大きな仏様ですよ)!!」の声が私の耳の中に入ってきて異国で母国語を聞くと、いかに懐かしい気持ちですかご存知でしょうか。昨年、尖閣諸島の件で日中両国の関係が又氷河期に入って冷え込んでいます。民間の交流も例年ほど活発ではなかったらしいです。そのようなニュースを見ると、私は心が痛みます。私は祖国の中国を愛しています。同時に私も日本が大好きです。中国と日本は私にとって父と母の存在です。父と母の喧嘩を見たくないです。父と母に仲良く一緒に歩んでほしいです。もし、阿部仲麻呂が今も生きていたら、必ず現代人の馬鹿な行いに対して笑うでしょう。私は本当に日中の友好を望んでいます。お互いに旅行などを通してもっともっと理解を深めるべきだと思います。日本に来たことがある人、中国に行ったことがある人の数が増えるにつれてお互いへの理解も深まってくるでしょう。理解が深まると、偏見や蟬りも少なくなってくるでしょう。

翌日、京都に行きました。さすがに日本の古都です。いたるところに古い香りが漂っています。私もまるで古代に戻ったような気分で旅を楽しみました。目の前に広がっている庭の緑と咲き乱れている花が古代のこの町の繁華を述べているようです。何人も抱えきれない太い木が歴史の証人として古都京都の古い歴史を旅人に述べているようです。西条城から金閣寺、大徳寺まで何処も古都の古さと美しさを感じさせてくれました。楽しい時間はいつも早く感じます。あつという間に、帰路につく時間になって夜8時ごろバスは広島駅に無事に戻ってきました。

この旅を通して私はいろんな人と交流ができました。人だけではなくて日本の美しい風景と古い歴史とも会話ができていろんなことを思い浮かべてとても楽しかったです。

さらに、RC研修が目的としていたロータリー奨学生とロータリー会員との交流やロータリー奨学生同士との交流も十分できて何よりであった。

旅行の最初(1日目)は、お互いにあまり知らない人同士だったので、話もできず、決まったスケジュールに合わせて無口で動いたのが殆どであったが、2日目は前日の交流会のおかげもあり(写真参照)、前日より明るく旅行できたと感じられる。今度、10月には下関で地区大会があるが、その日にお会いできることを楽しみにして解散した我々の様子が記憶に残る。

このような経験をさせてくださったRCの皆様に、深い御礼を申し上げます。

旅行途中には、暑く疲れたとか、1泊2日の日程では少しハードなスケジュールだったという声もなくはなかったが、研修が終わり、今文章を綴りながら、今回の研修が自分の留学生活の中で非常に重要な経験の一つになったことは確実である。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2710地区 2013-14年度 74RCの会員増減・出席率

2013年8月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	3	93.48	93.17	32	33	5	1	0	1
	下 関	4	81.63	84.57	47	49	2	2	0	2
	下関中央	4	75.83	76.25	30	30	5	0	0	0
	下 関 東	3	86.37	83.42	46	49	0	3	0	3
	下 関 北	3	92.9	93.38	40	43	0	3	0	3
	下 関 西	3	84.9	81.99	38	38	1	0	0	0
	油 谷 湾	3	100	100	13	13	0	0	0	0
	計		87.87	87.54	246	255	13	9	0	9
グループ2	萩	4	92.51	93.57	51	52	0	2	1	1
	萩 東	3	98.48	99.24	22	22	0	0	0	0
	美 祢	3	73.56	73.85	26	26	0	0	0	0
	小 野 田	3	82.16	83.28	41	43	2	2	0	2
	宇 部	4	90.3	89.94	49	49	2	0	0	0
	宇 部 東	3	78.89	71.7	17	16	2	0	1	-1
	宇 部 西	4	87.88	90.16	53	53	1	1	1	0
	計		86.25	85.96	259	261	7	5	3	2
グループ3	防 府	3	88.62	88.43	51	52	0	3	2	1
	防 府 北	3	85.96	79.65	20	19	2	0	1	-1
	防 府 南	4	75	78.93	33	36	8	3	0	3
	山 口	3	96.85	96.34	55	54	2	0	1	-1
	山口県央	3	93.14	95.67	32	34	1	2	0	2
	山 口 南	4	85.89	86.82	38	39	4	1	0	1
	計		87.58	87.64	229	234	17	9	4	5
グループ4	光	4	85.56	85.6	48	47	0	0	1	-1
	周 南 西	3	93.94	95.11	43	45	5	2	0	2
	徳 山	4	92.44	93.73	45	49	1	4	0	4
	徳山セントラル	3	87.1	87.91	31	30	1	0	1	-1
	徳 山 東	3	96.21	96.78	53	53	0	0	0	0
グループ5	計		91.05	91.83	220	224	7	6	2	4
	岩 国	4	77.25	77.92	62	62	0	4	4	0
	岩国中央	3	88.29	90	40	40	3	0	0	0
	岩 国 西	4	87.56	87.56	56	57	3	1	0	1
	柳 井	3	100	98.34	33	35	2	3	1	2
グループ6	柳 井 西	4	98.04	98.06	28	29	2	1	0	1
	計		90.23	90.38	219	223	10	9	5	4
	広 島	3	100	99.72	106	114	0	8	0	8
	広島安芸	3	98.25	97.81	39	39	2	0	0	0
	広島安佐	4	87.39	88.13	20	22	1	2	0	2
グループ7	広島東	3	97.58	97.8	90	92	4	2	0	2
	広島北	4	100	100	80	83	0	3	0	3
	広島陵北	3	99.29	99.22	46	47	1	1	0	1
	大 竹	3	87.1	88.39	31	31	0	0	0	0
	計		95.66	95.87	412	428	8	16	0	16

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	7	100	99.81	69	69	8	2	2	0
	広島廿日市	3	91.89	92.32	37	37	1	0	0	0
	広島城南	4	99.55	99.33	55	56	2	1	0	1
	広 島 南	4	99.7	99.55	89	91	0	2	0	2
	広島東南	3	100	100	86	85	8	1	2	-1
	広島西南	3	100	100	57	61	4	4	0	4
	広 島 西	4	100	100	78	80	0	3	1	2
	計		98.73	98.72	471	479	23	13	5	8
グループ8	江 田 島	4	92.1	90.79	19	19	0	0	0	0
	東 広 島	3	99.21	99.61	30	31	2	1	0	1
	東広島21	3	81.48	85.88	18	18	0	0	0	0
	呉	4	92.92	93.26	68	69	0	1	0	1
	呉 東	3	95.59	92.94	33	32	0	1	2	-1
	呉 南	3	90.26	91.55	55	55	4	1	1	0
	西 条	4	100	100	40	40	1	0	0	0
	計		93.08	93.43	263	264	7	4	3	1
グループ9	広島空港	4	83.75	86.25	21	21	3	0	0	0
	因 島	4	86.28	87.09	24	25	1	1	0	1
	三 原	3	93.55	93.71	63	63	2	0	0	0
	尾 道	4	85.66	85.54	70	69	3	0	1	-1
	尾 道 東	3	91.35	91.63	50	51	0	1	0	1
	瀬 戸 田	3	87.5	87.5	7	7	0	0	0	0
	竹 原	4	90.45	88.44	35	34	4	0	1	-1
	計		88.36	88.59	270	270	13	2	2	0
グループ10	府 中	3	89.66	91.38	33	33	0	0	0	0
	福 山	3	96.06	97.49	74	82	0	8	0	8
	福 山 東	3	86	89.4	50	51	2	1	0	1
	福山丸之内	3	97.98	97.1	34	33	1	0	1	-1
	鞆の浦	3	82.72	81.73	27	27	0	0	0	0
	福山REC2710	3	97.62	97.42	27	29	3	2	0	2
	計		91.67	92.42	245	255	6	11	1	10
	福山赤坂	3	80.47	81.78	42	42	4	0	0	0
グループ11	福 山 北	4	97.73	97.73	46	44	0	0	2	-2
	福 山 南	4	82.75	83.84	58	61	2	3	0	3
	福 山 西	3	95.72	94.78	38	39	2	1	0	1
	松 永	4	89.95	90.34	46	46	2	0	0	0
	計		89.32	89.69	230	232	10	4	2	2
グループ12	吉 舎	4	98.53	99.27	17	17	0	0	0	0
	三 次	4	78.72	79.51	40	41	0	1	0	1
	三次中央	3	94.7	93.93	44	44	5	0	0	0
	庄 原	2	92.68	93.03	35	35	4	0	0	0
	東 城	3	88.89	88.26	21	21	1	0	0	0
第2710地区計	計		90.7	90.8	157	158	10	1	0	1
	計		90.55	90.73	3221	3283	131	89	27	62



新入会員紹介

							
沖野 雅昭 下関中央RC 2013年9月6日 冷凍品運送業	大久保 裕元 萩RC 2013年8月29日 税理士事務所	大畑 茂雄 萩RC 2013年8月29日 電気事業所	潮 貞男 防府RC 2013年8月6日 平版印刷	三田 浩士 防府RC 2013年8月6日 信用金庫	林 晃 防府南RC 2013年8月1日 貴金属販売	金山 伸二 広島RC 2013年8月6日 全国放送	本幡 克哉 広島RC 2013年8月6日 中央銀行
							
林 克彦 広島RC 2013年8月27日 鉄道建設	胡 正信 広島東RC 2013年8月7日 スポーツ団体	打海 啓次 広島東RC 2013年8月7日 証券業	山本 昌弘 広島中央RC 2013年9月2日 血液事業	宮武 利行 三原RC 2013年9月10日 弁護士	瀬尾 寿美子 福山南RC 2013年7月4日 総合美容業	永光 哲 福山南RC 2013年7月4日 建築塗装業	横田 烈希 福山南RC 2013年7月4日 紳士服販売



小川 雅男
庄原RC
2013年7月2日
農業化学



新入会員氏名
所属RC
入会日
職業分類

謹んで追悼の意を表します



2013年8月2日ご逝去(享年58歳)
 ■ロータリー歴
 ボール・ハリス・フェロー(2006年度)
 米山功労者(2012年度)
 2000-01年度 幹事
 2001-02年度 会計
 2005-06年度 SAA
 2008-09年度 広報担当理事
 2009-10年度 奉仕プロジェクト担当理事
 2011-12年度 会長エレクト、クラブ奉仕担当理事
 ■職業分類
 電気機器販売
 福山丸之内RC
 故 沖 弘充 殿



2013年9月5日ご逝去(享年84歳)
 ■ロータリー歴
 2005-06年度 会長
 ペネファクター
 ボール・ハリス・フェロー
 マルチプル米山功労者
 ■職業分類
 楽器小売
 広島東RC
 故 柏村 保男 殿

文庫通信

312号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■講演より

日本人が知るべき、日本人の精神・美しさ・誇りとは…	竹田 恒泰	2013	6p	(D.2600地区大会報告書)
チーム力	柿本 倫明	2013	5p	(D.2600中信第2グループ IM 報告書)
"超"ものづくりへの挑戦—これからの 100年をデザインする	奥山 清行	2013	27p	(D.2550地区大会記念誌)
動物と人 共に生きる	伊藤 年一	2012	7p	(D.2750インターアクト年次大会報告書)
思いやりの気持ちが平和をつくる	紺野美沙子	2013	2p	(D.2760地区大会記録誌)
進化する X 線技術と社会へのインパクト	村松 康司	2013	2p	(D.2680西播第2グループ IMReport)
私の登った外国の山々	渡辺 玉枝	2013	4p	(米山梅吉記念館館報21号)
『荒城の月』原曲	岡村 健	2012	4p	(福岡南R.C. 会報)
『故郷：ふるさと』～柳の下のどじょう？	岡村 健	2012	6p	(福岡南R.C. 会報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
 TEL: (03)3433-6456 FAX: (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F

TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>